「にっぽん丸」に乗船して

鈴木様ご姉妹

(乗船コース:飛んでクルーズ北海道Bコース)

出発当日、小樽駅から入港しているにっぽん丸がみえました。 初めてのクルージングに胸が高鳴ります。

事前検査と当日に行うPCR検査を無事にクリアし、乗船。

出発を待つ間、船内イベントの1つ「手作りマスク」にチャレンジ。短時間で楽しくかわいいマスクが完成しました。





夕暮れ迫る小樽港を小樽潮太鼓に見送られ 船は海へすべり出ました。



さて、船内では食事はもちろんお楽しみが目白押しです。毎日届く船内新聞でその日のスケジュールをチェック。観光地も巡りたい、船の中も楽しみたい、体が一つでは足りないくらいです。

船旅といえば「揺れる、酔う」 というイメージが強かったのですが、とても静かで揺れも感じず 海の上に居るのだということを 忘れてしまうほど快適でした。

寝ている間に移動し、朝起きると次の観光地に着いており、また、重い荷物は船に預けたまま身軽に観光出来るというのは船旅の大きな利点ではないでしょうか。



毎回の素晴らしい食事の他にも様々な形で食事やスナックが無料でサービスされており日替わりのアイスクリームやGODIVAのショコリキサー等「食」に関してはとても満足のいくものでした。

観光地では利尻、羅臼ともに天候に恵まれ、利尻富士は頂上までクッキリとその姿を見せてくれ、羅臼では野生のシカやオオワシに出会うこともできました。北海道ならではの景色です。







また、今回利尻で 超有名なラーメン店で の無料チケットも用意 されており、感激です。 美味しくいただきました。 細かな心遣いに本当 に感謝です。



数多くある船内イベントの中でビンゴ ゲームに参加しました。ステージでは南 京玉すだれも披露。大盛りあがりでした。 プールサイドでは生演奏が楽しめ、 船内で入浴も、ヨガも、ライブラリーも、 シアターも、落語も、ステージも、、、 毎日です!飽きることがありません。

全てを楽しむ意気込みでしたが、 いくつか参加を見送ったものもあり、 ちょっと心残りです。

コロナ禍での船旅のため、検温、マスク着用等の制限がありながらも、安心して快適に旅を楽しむことが出来ました。





最終日、小樽入港時、「いつかマスクのない旅が出来る日が来ることを願っています」と船長のアナウンスがありました。

本当にその日が早く来ることを祈るばかりです。

